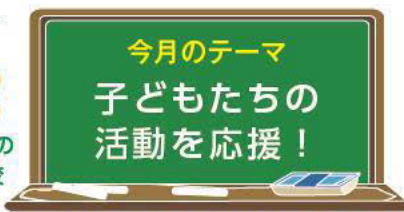


あだち放課後子ども教室

「あだち放課後子ども教室」は、地域の方々の協力を得ながら運営されており、区内の小学校で子どもたちが自主的に活動する場です。



あだち放課後子ども教室では、子どもたちが校庭で遊んだり図書室で宿題をしたりして、思い思いの時間を過ごしています。そのような子どもたちの活動が、もっと楽しくなるように応援してくれる人たちがいます。今回は、加平小学校放課後子ども教室（以下「かへいキッズ」）の様子を紹介します。

● ボランティアさんが来る日を楽しみにしています

「かへいキッズには、ドッジビーとおりがみを教えてくれるボランティアの方が来ています。普段はいくつかのグループに分かれて遊んでいますが、ドッジビーとおりがみの日は大勢の子どもたちが一緒に遊びます」と話すのはスタッフリーダーの田口さん。「次はいつ来てくれるの？」と、子どもたちはボランティアさんの来る日をとっても楽しみにしています。



子どもたちに声をかける田口リーダー



スタッフを募集しているあだち放課後子ども教室があります。詳しくはお問い合わせください。
放課後子ども教室担当 ☎5813-3732（平日 午前9時～午後5時）

● みんなで遊べるドッジビー！

ドッジビーは柔らかいフリスビーを投げるドッジボールのようなスポーツです。「当たっても痛くないので、小さい子ども大きい子ども、男子も女子も一緒に楽しんでいます」と話してくれたのは、ボランティアで教えに来ているスポーツ推進委員の今井さんと森井さん。子どもたちはドッジビーを取りに行ったり、当てられないように逃げたりと、笑顔で走り回っていました。



ドッジビー楽しいよ！

● 今日のおりがみ、何つくる？

おりがみを教えてくれるのは、公社主催の「子どもと遊ぶおりがみ教室」を修了した“おりがみサポーター”のみなさんです。子どもとの接し方も学んでいます。この日もいろいろなお話をしながら折り方を教えてくれました。おりがみは特に低学年に人気で、折ったものを友達やスタッフさんに得意げに見せていました。



おりがみできたよ！

子どもたちは思い思いに自由遊びを楽しんでいますが、いつもとは違う体験には新鮮な楽しさがあります。子どもたちを見守るスタッフのみなさんをはじめ、地域のたくさんの方々があだち放課後子ども教室を応援してくれています。